

【情報科学技術関連】 未来社会を見据えた先端基盤技術の強化

資料4-3-1
科学技術・学術審議会
研究計画・評価分科会
(第62回) H29.8.21

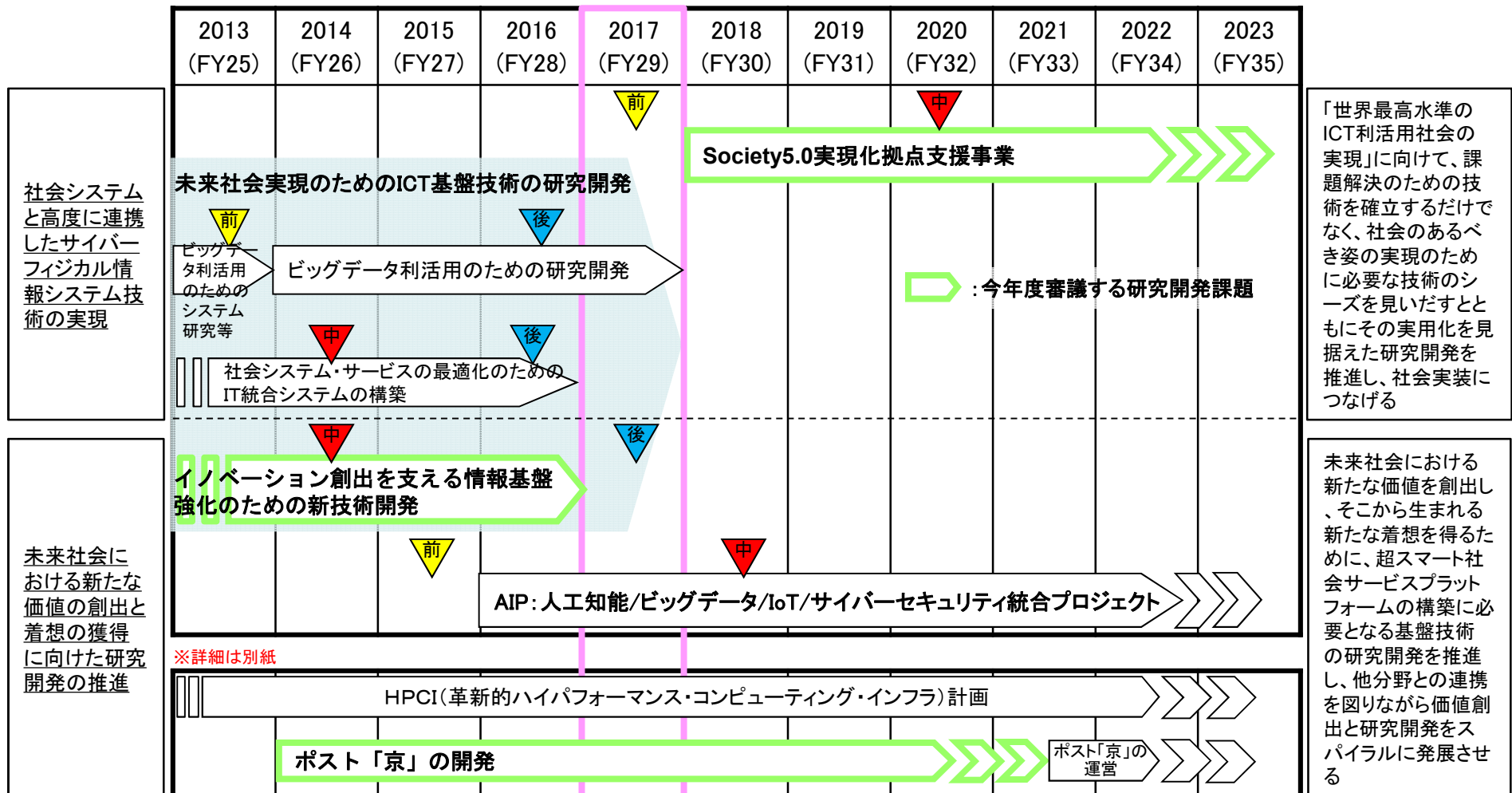
研究開発計画:

大目標

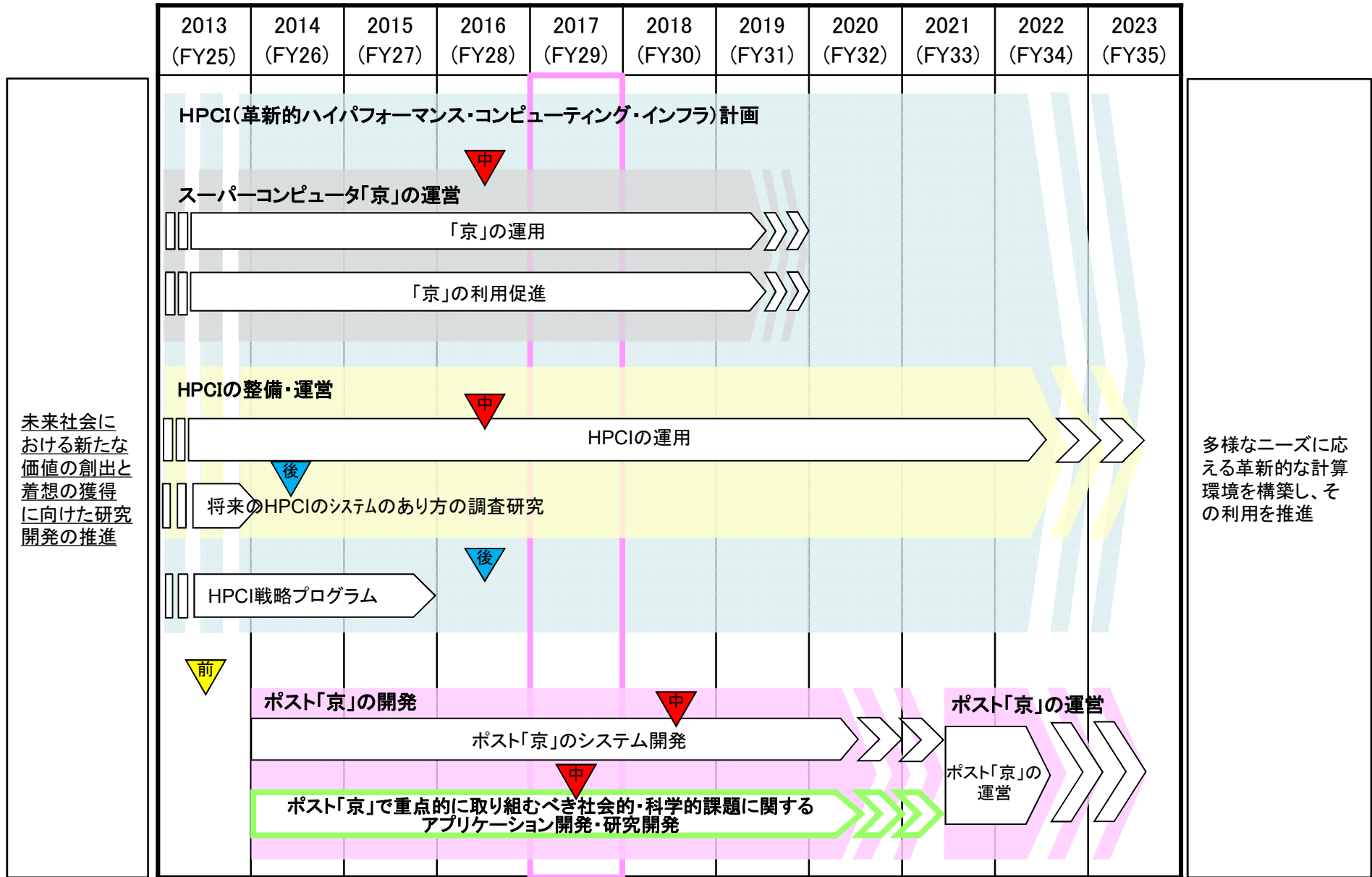
ICTを最大限に活用し、サイバー空間とフィジカル空間(現実世界)とを融合させた取組により、人々に豊かさをもたらす「超スマート社会」を未来社会の姿として共有し、その実現に向けた一連の取組を更に深化させつつ「Society 5.0」として強力に推進し、世界に先駆けて超スマート社会を実現していく。このため、国は、超スマート社会サービスプラットフォームの構築に必要な基盤技術及び個別システムにおいて新たな価値創出のコアとなり現実世界で機能する基盤技術について強化を図る。

大目標達成のために必要な中目標

我が国が世界に先駆けて超スマート社会を形成し、ビッグデータ等から付加価値を生み出していくために、産学官で協働して基礎研究から社会実装に向けた開発を行うと同時に、技術進展がもたらす社会への影響や人間及び社会の在り方に対する洞察を深めながら、中長期的視野から超スマート社会サービスプラットフォームの構築に必要な基盤技術の強化を図る。



HPCI / ポスト「京」関連



未来社会における新たな価値の創出と着想の獲得に向けた研究開発の推進

多様なニーズに応える革新的な計算環境を構築し、その利用を推進

: 今年度審議する研究開発課題